

名古屋市 地区防災カルテ（学区単位）

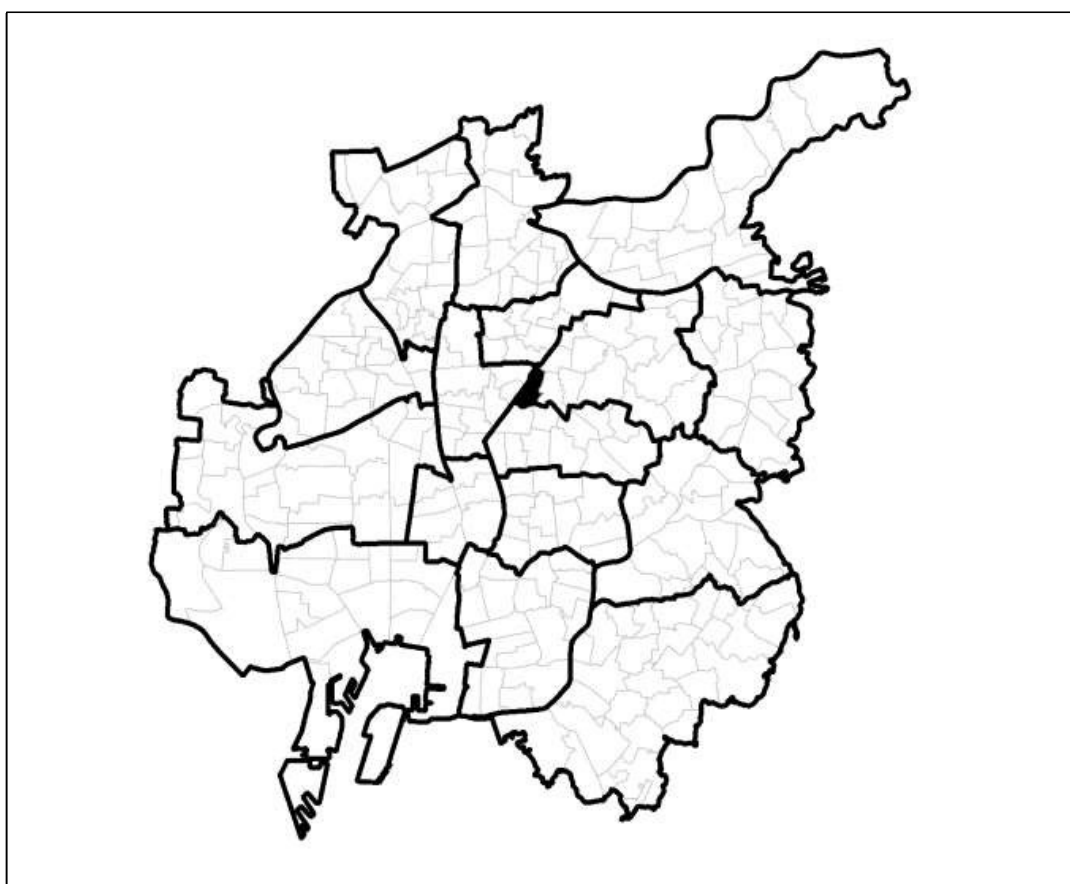
千種 区 千石 学区

最終更新: 平成 30 年 10 月 31 日

名古屋市 地区防災カルテ

千種 区

千石 学区



- 南海トラフ巨大地震(30年以内に発生する確率は70~80%)、線状降水帯による集中豪雨、スーパー伊勢湾台風などの大規模災害発生時には、自助・共助・公助のうち、「公助」だけでは十分に対応できません。
- 特に災害初期、「公助」は絶対的に不足します。災害対応の主役・原点は「自助・共助」です。
- つまり、個人や家族の力、そしてご近所、町内会、学区などの地域コミュニティのなかで助け合っていくことこそが、「我がまち」の防災・減災を実現していく上で非常に大切となってくるのです。
- 本カルテは、「我がまち」の現状を把握・分析し、災害への備えや災害対応をどうすべきかを考え、具体的な取り組みにつなげていくための一助として整理しているものです。地域の皆様が「自分たちで何とかしよう」、「我がまちを自ら守っていこう」と考える機運につなげていただければ幸いです。

1-5 地域特性、地域コミュニティの把握に資する、学区独自の取組や行事などの状況

(自由記述)

・「地域活動事例集」として名古屋市webサイトで紹介(平成25年2月時点)
 【活動名】……共生型ふれあいいきいきサロン 3あいお茶飲み会
 (<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/3-4-3-0-0-0-0-0-0-0.html>)

1-6 特記事項 (地域特性に関すること)

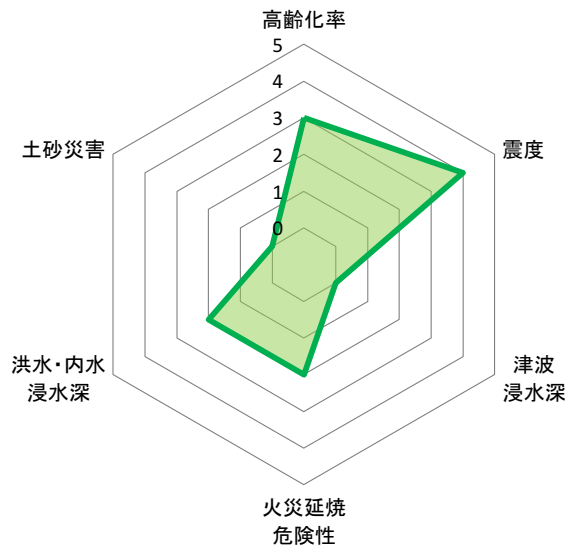
(自由記述)

【地形やハザードを同じくする他の地域】

(地域特性が似ている他の地域(学区)がある場合、参考として例示する。)

1-7 リスクレーダーチャート (【STEP1】:地域特性の把握)

	値	5段階
高齢化率	21.9%	3
震度	6強	4
津波浸水深	0m	0
火災延焼危険性	100~500棟未満	2
洪水・内水浸水深	0.5m~1.0m未満	2
土砂災害	警戒区域なし	0



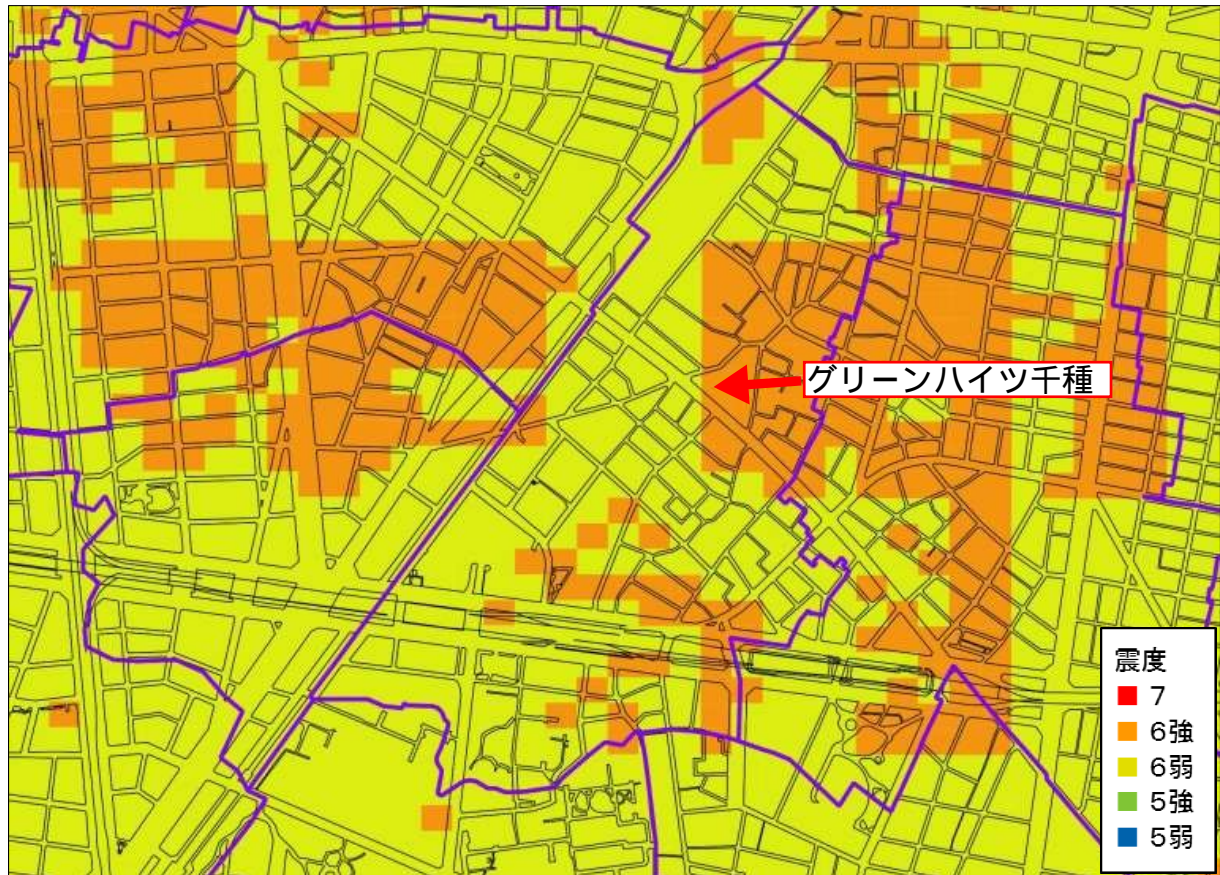
【参考】5段階の基準

	0	1	2	3	4	5
高齢化率		15%未満	15~20%未満	20~25%未満	25~30%未満	30%以上
震度(南海トラフ)		5弱	5強	6弱	6強	7
津波浸水深	0m	0.5m未満	0.5~1.0m未満	1.0~1.5m未満	1.5~2.0m未満	2.0m以上
火災延焼危険性		100棟未満	100~500棟未満	500~1,000棟未満	1,000~2,500棟未満	2,500棟以上
洪水・内水浸水深	0m	0.5m未満	0.5~1.0m未満	1.0~2.0m未満	2.0~5.0m未満	5.0m以上
土砂災害	警戒区域なし	警戒区域に人家・施設なし	警戒区域に人家10件未満	警戒区域に人家10件以上	警戒区域に人家50件以上	警戒区域に人家100件以上

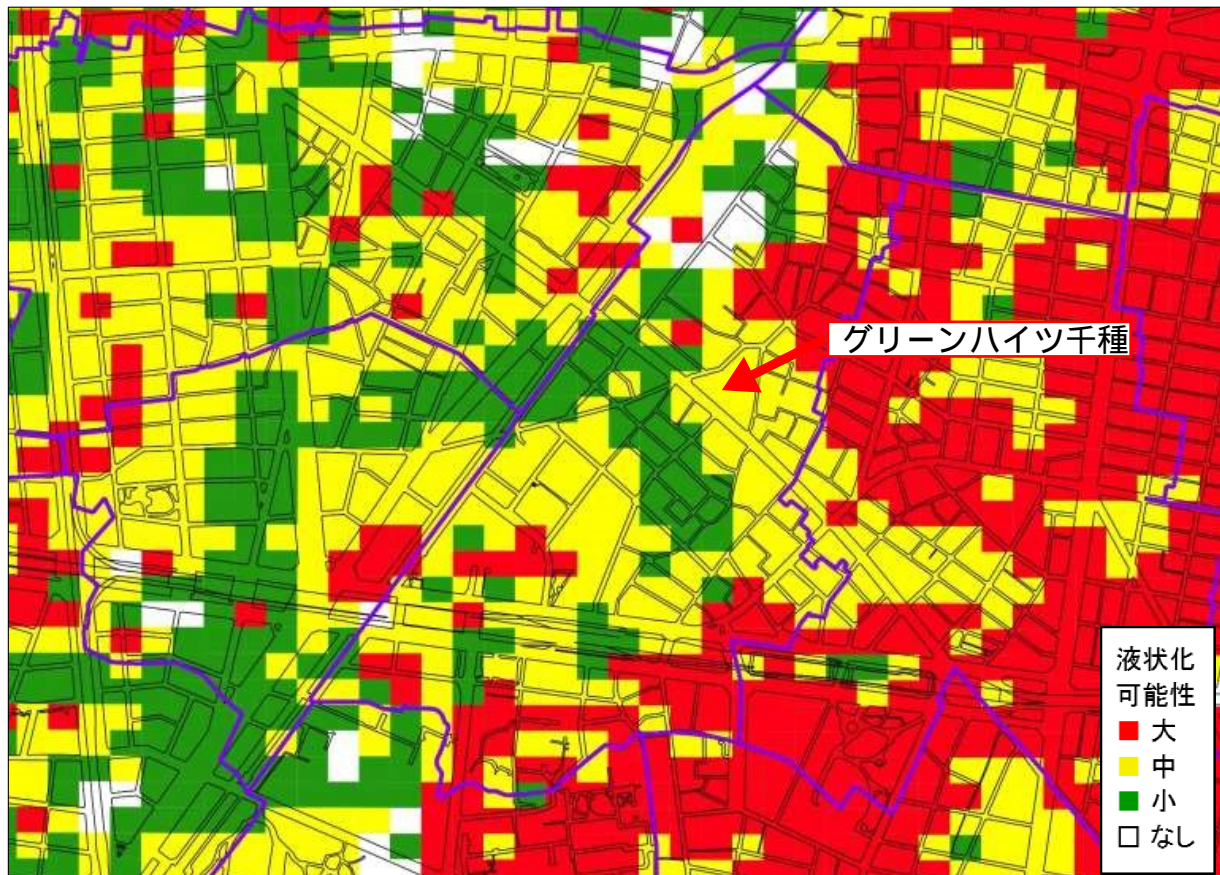
1-2 想定される災害リスク（各種ハザードマップ等の情報を抜粋）

1-2-1 あなたの街の地震ハザードマップ

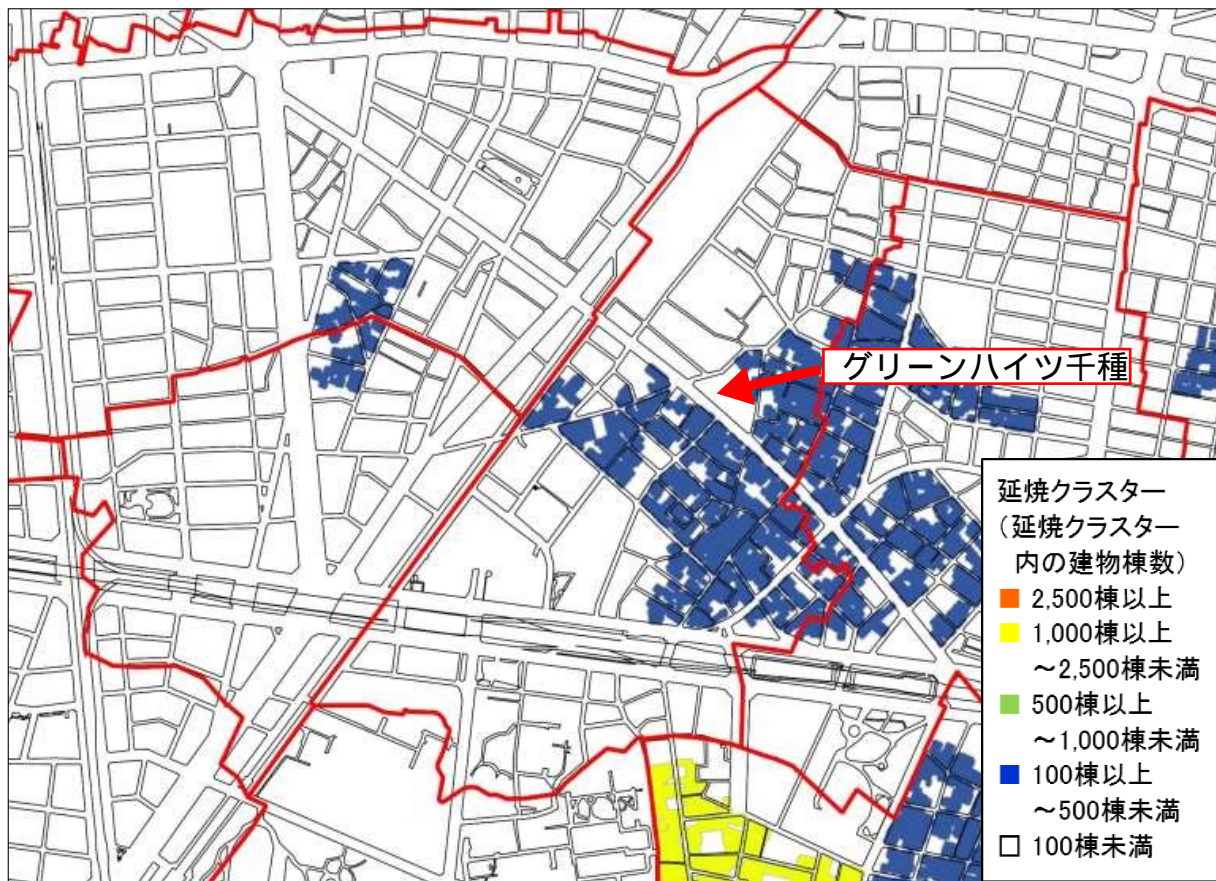
(1) 震度分布(あらゆる可能性を考慮した最大クラス)



(2) 液状化可能性(あらゆる可能性を考慮した最大クラス)

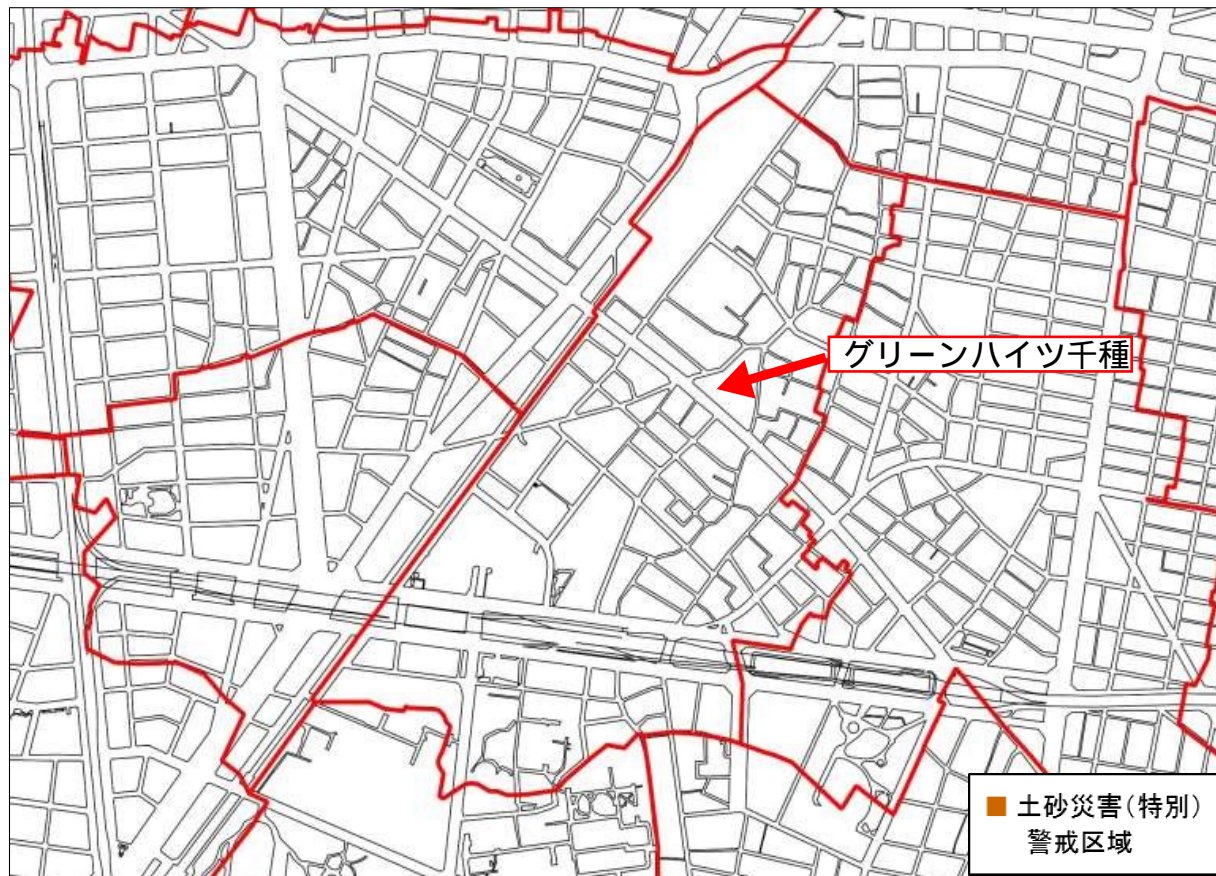


(3) 火災延焼危険性(あらゆる可能性を考慮した最大クラス)



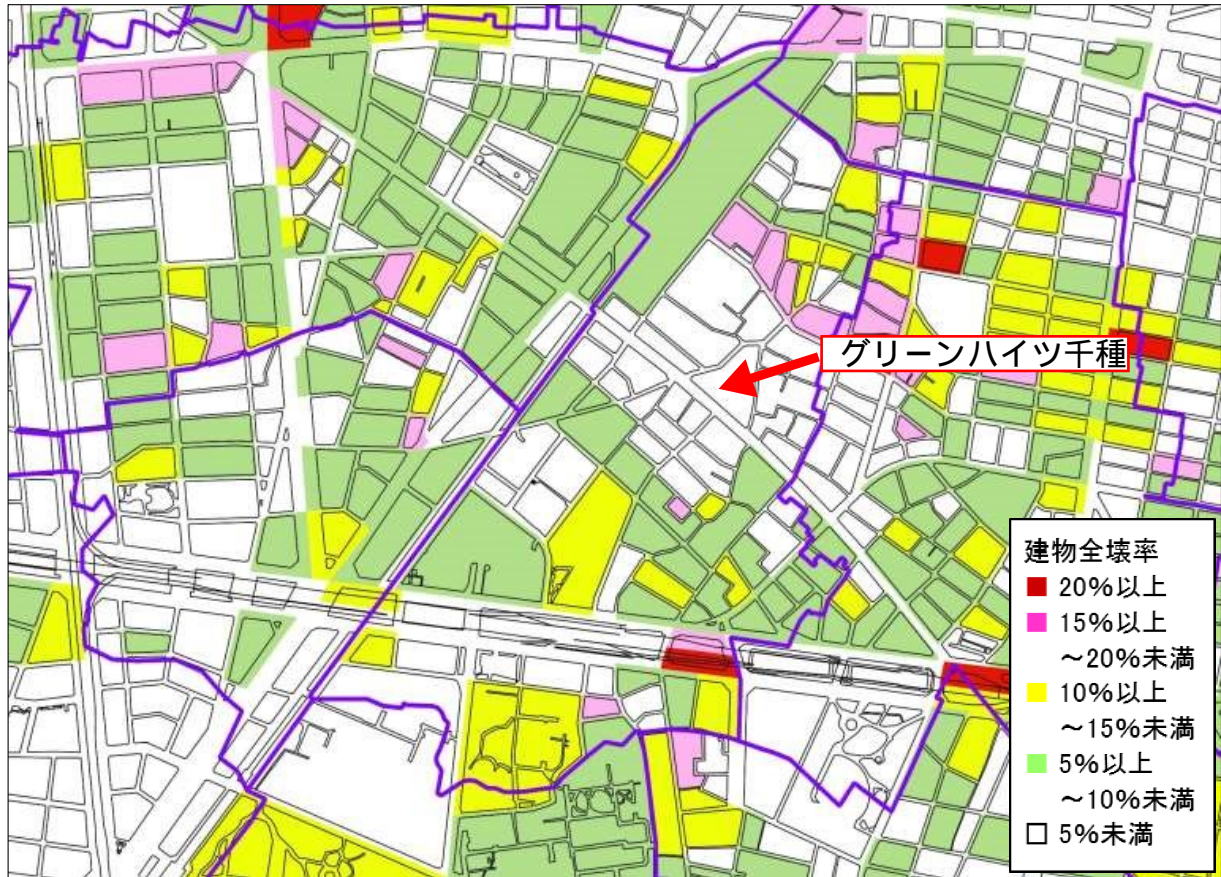
1-2-3 愛知県土砂災害防災情報

(1) 土砂災害(特別)警戒区域

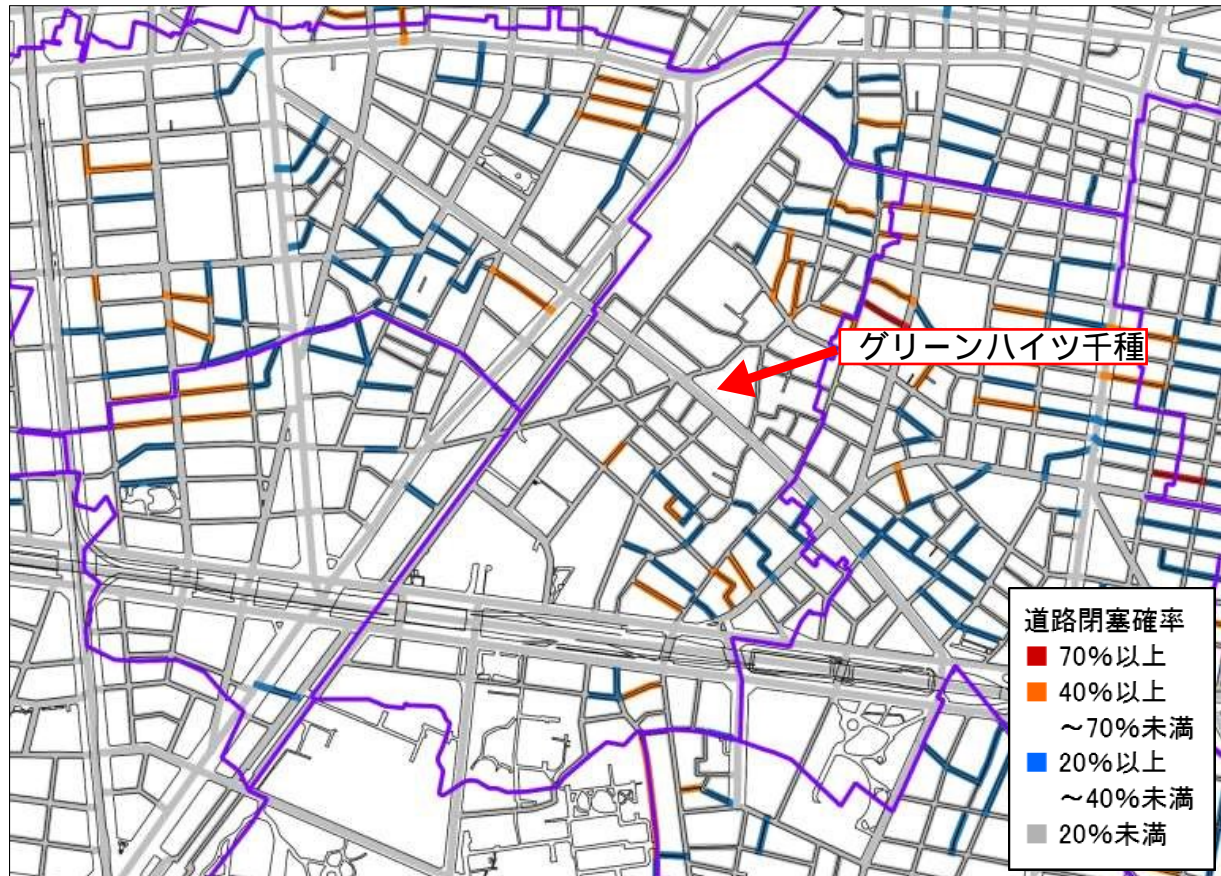


1-2-2 震災に強いまちづくり方針(地震災害危険度評価図)

(1) 建物倒壊危険性(あらゆる可能性を考慮した最大クラス)

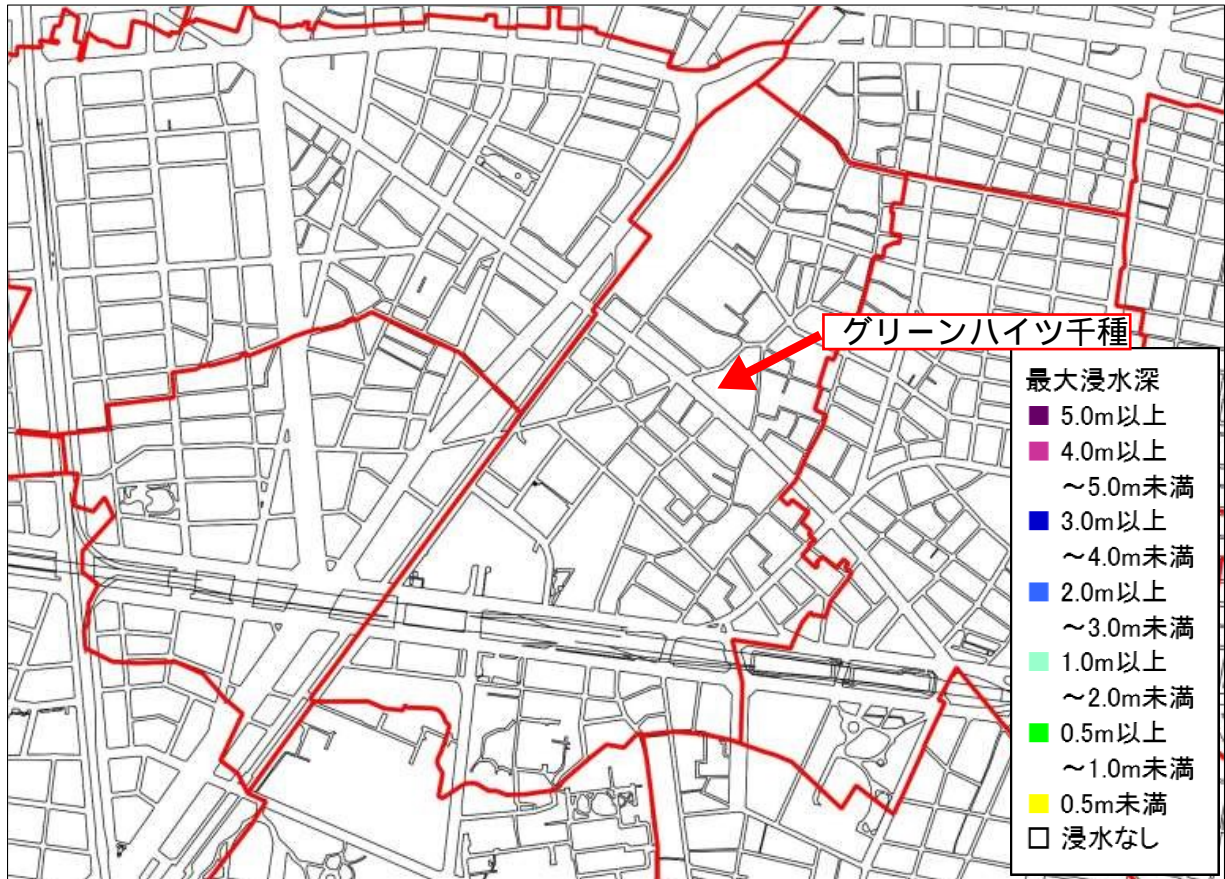


(2) 道路閉塞危険性(あらゆる可能性を考慮した最大クラス)

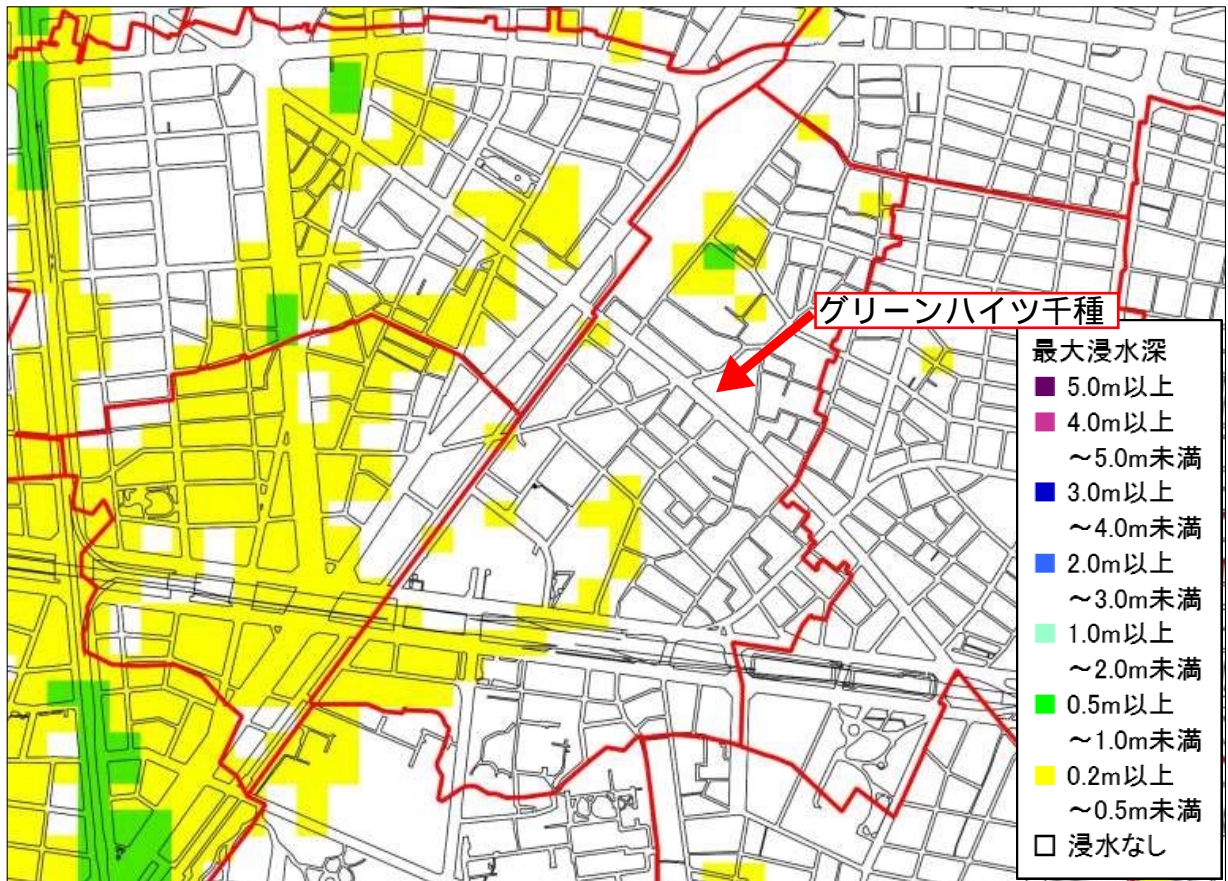


1-2-5 あなたの街の洪水・内水ハザードマップ

(1) 洪水・・・大雨によって、河川の水が堤防を越えてあふれたり、堤防の土砂が流出して決壊すること



(2) 内水氾濫・・・雨の量が排水施設の能力を超えたり、河川の水位が高くなったとき、雨水を排水できなくなり、浸水すること



1-2-6 その他の災害リスク

(自由記述)

【活断層】

- 猿投－高浜断層帯(想定震度6強)
- 養老－桑名－四日市断層帯(千種区の想定震度5強)

1-2-7 災害リスクまとめ (各種ハザードマップ等の情報を整理)

(自由記述)

【地震】

- 震度：6弱～6強
- 液状化可能性：小～大が全体的に分布
- 土砂災害(特別)警戒区域：なし
- 津波：なし
- 建物倒壊危険性：学区中央部などを除き、建物全壊率5%以上のところが広く分布
- 道路閉塞危険性：特に、学区北東部及び中央～南東部にて、道路閉塞確率が比較的高いところが分布
- 火災延焼危険性：学区中央～東側にかけて、火災延焼の危険性(延焼クラスターが比較的大きいところが分布)

【洪水・内水】

- 洪水：なし
- 内水：概ね20センチ未満であるが、学区の一部に1m未満の想定箇所あり

1-3 指定緊急避難場所、指定避難所など (平成29年12月31日現在)

(お住まいの行政区・学区に関わらず、どなたでも最寄りの場所に避難することができます。)



※現時点では、津波避難ビル、広域／一時避難場所以外の指定緊急避難場所は、指定避難所を兼ねています。それぞれの詳細については、次ページの表をご覧ください。